

第3節 対外膨張による間欠的發展と戦争

I 対外膨張による間欠的發展

資本主義の一般的傾向：一国經濟の枠を超えて国外にその活動を拡大

独占段階：独占資本が資本力を武器として独占利潤の獲得のために対外膨張を強力に推進

(1) 資本主義經濟が未発達または発達途上の国・地域への対外膨張

(a) 将来大量の需要の開拓が見込まれる国・地域

率先的進出⇒自企業の商品の販売市場として_____的に支配

⇒将来にわたって巨額の独占利潤を安定的に獲得

そのための手段：資本_____⇒部分的な生産設備の設置や流通機構の整備

(b) 天然資源が豊富な国・地域

資源の独占的確保→_____独占による不等価交換の強制→低廉な原料資源の安定的獲得

⇒巨額の独占利潤の獲得+他国の_____資本との対抗上の優越的地位

そのための手段：

資本輸出⇒天然資源の開発・生産・輸送・流通機構までのすべてを独占的に支配

(a)・(b)いずれの場合も必要に応じて_____的手段をとる対外膨張が追及される

(2) 独占段階にある先進資本主義国への対外膨張

相手国独占企業の参入障壁の存在

対外膨張の武器は？

{ 需要の大幅拡大期に導入された優秀な新生産方法を基礎とする_____

{ 大規模な研究開発投資によって開発・実用化に成功した_____

⇒商品輸出&現地生産

(3) 停滞基調の下での対外膨張の追及

{ 貨幣資本の慢性的過剰⇒直接投資の原資

{ 証券投資による利子・キャピタルゲインの獲得

{ ダンピング輸出*

＊ダンピング輸出の誘因と原理

ダンピング輸出：自国内での販売価格を大幅に下回る価格での輸出がなぜ行なわれるのか？

例：自動車年産 200 万台の生産設備

固定費用 5000 億円，限界費用(1 台あたりの原材料費・人件費等)100 万円

(a) 国内販売 100 万台の場合

1 台あたりのコスト＝固定費用_____万円＋限界費用 100 万円＝_____万円

1 台 200 万円で販売⇒売上総額 2 兆円－総費用_____億円＝利潤総額_____億円

(b) 輸出価格を 125 万円にダンピングして 100 万台を輸出できた場合

1 台あたりのコスト＝固定費用_____万円＋限界費用 100 万円＝_____万円

⇒売上総額 3 兆 2500 億円－総費用_____億円＝利潤総額_____億円

(4) 対外膨張の成功— 急速な拡大再生産の現実化

(a) 対外膨張の成功：商品輸出の急速な増大

⇒新生産部門の形成にともなう急速な拡大再生産メカニズムと同様の作用が機能

→需要増大と生産・投資拡大の加速度的・相互促進的波及の_____

→急速な経済成長と_____の増大の実現

⇒外国市場の拡大・輸出増大を経済成長の_____の要素とする再生産構造の形成



(b) 外国市場の拡大・輸出増大が頭打ちとなれば？

⇒過剰生産恐慌・大規模な過剰生産能力

⇒深刻な停滞基調

⇒国家政策と結びついた「_____的」対外膨張の追及

⇒帝国主義間対立の激化・軍事衝突惹起の可能性

* 典型例：1929 年世界恐慌とその後の 30 年代長期不況に対する各国の政策

⇒その帰結としての第 2 次世界大戦

Ⅱ 世界大恐慌(1929.10.24)の勃発と 1930 年代長期不況

(1) 世界恐慌の発生と波及

① 1920 年代アメリカ経済の空前の好況

第 1 次大戦による富の蓄積(____国へ)

共和党の大企業保護政策，高率保護関税

自動車・電気製品の普及，建設，海外投資・貿易の成長

→ヨーロッパ諸国の農業生産の復活=アメリカ農産物の市場圧迫・価格_____

工業製品の生産過剰化傾向

② 恐慌の発生

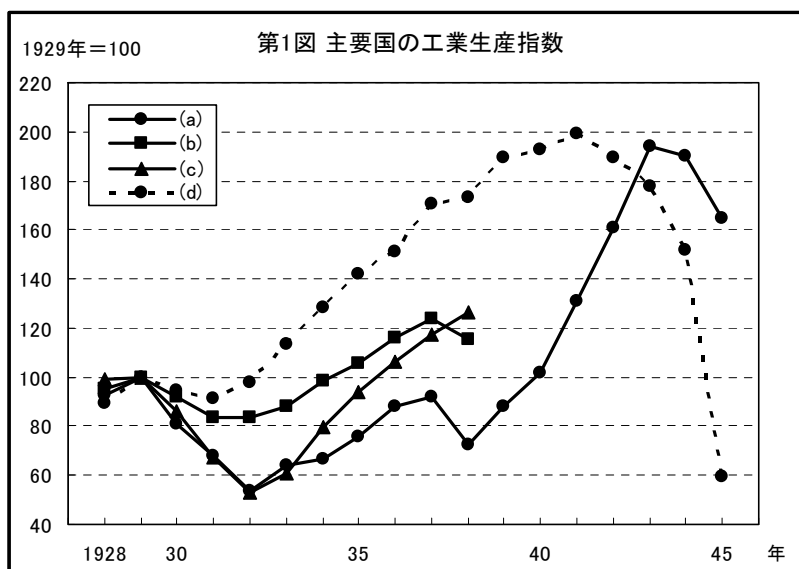
1929 年 10 月，ニューヨーク株式市場の株価大暴落

→生産の縮小，失業者増大，銀行倒産，商業・貿易の停滞

アメリカ資本のヨーロッパからの引き揚げ*→ヨーロッパへの恐慌波及

(2) 経済指標による確認

① 工業生産(第 1 図)



(a) , (b) , (c) , (d)

[資料出所]

B. R. Mitchell, *European Historical Statistics, 1750-1970*.

U. S. Department of Commerce, *Historical Statistics of the United States*.

OECD, *Industrial Statistics 1900-1962*.

日本銀行、『明治以降本邦主要経済統計』より作成。

(a) : 32 年の 53.8 にほぼ半減, _____ 年まで恐慌前水準を回復せず

_____ 年以降, 急速な生産拡大

(b) : 32 年の 83.5, _____ 年頃恐慌前水準に回復

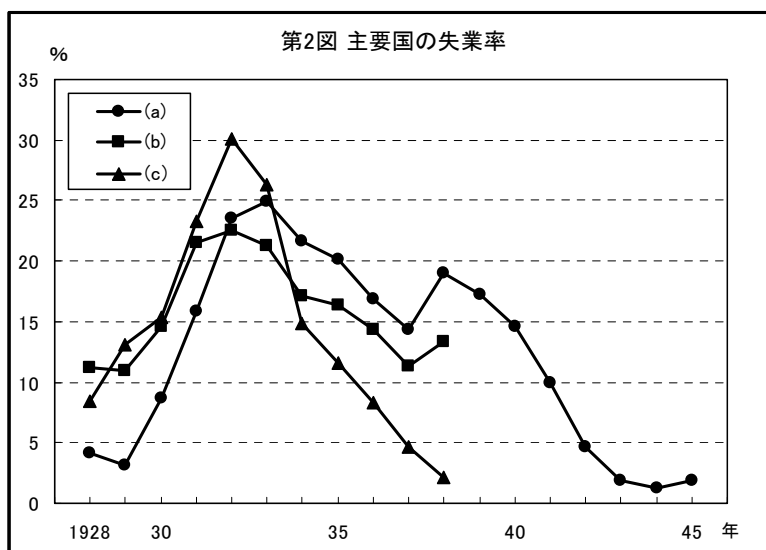
(c) : 32 年に 53.3, もっとも深刻, _____ 年には回復

(d) : 31 年に 91.6, 4 カ国のなかで影響はもっとも _____

(ただし, すでに第 1 次世界大戦後の不況, 関東大震災, 金融恐慌により工業生産が低迷)

_____ 年に恐慌前水準に回復, 以後急速に生産増加

② 失業率(第 2 図)



[資料出所]

第 1 図に同じ。*各国で失業率の定義が異なるので絶対水準の比較は無意味。日本は公的統計が無い

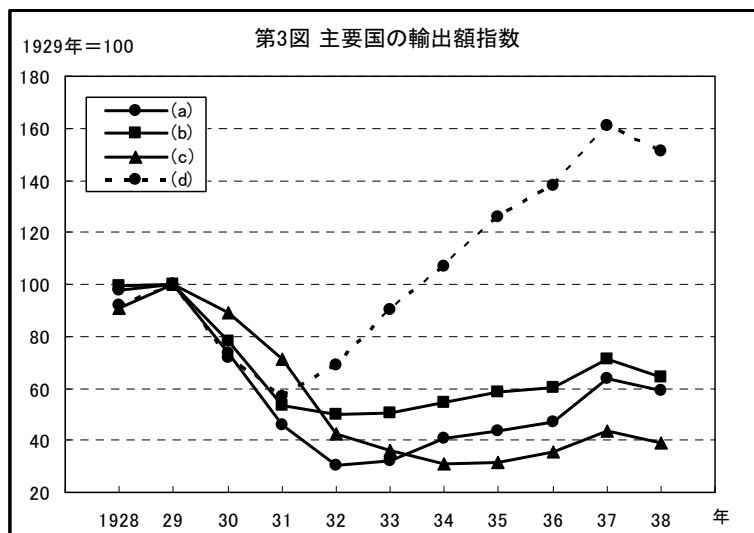
(a) : 29 年の完全雇用状態→33 年のピーク=24.9%(1280 万人),

37 年でも 14.3%(770 万人), 40 年以降, 急速に低下→45 年まで超完全雇用状態

(b) : (a)とほぼ同様の経過, 影響はより軽微, 32 年ピーク 22.5% (250 万人)

(c) : 32 年ピーク 30.1%(480 万人)で 4 カ国中最悪→以後, 急速に低下し完全雇用へ

③ 輸出額(第3図)



[資料出所]

宮崎犀一，奥村茂次，森田桐郎編，『近代国際経済要覧』（東大出版）

(a)～(c)とも総じて低迷＝_____経済化による世界貿易の低迷を示唆

(d)のみが急速に輸出を伸ばす

(3) 各国の恐慌への対処：アメリカ

① フーヴァーモラトリウム

ドイツ賠償・連合国の戦債支払1年間停止。恐慌対策として効果_____

② F. _____大統領(1932年当選，翌年3月就任)の政策

(a) 金本位制停止(33年4月)＝管理通貨制への移行⇒財政・金融政策の自由度_____

(b) New Deal 政策：3R(recovery, reform, relief)

i) 生産の統制・高物価政策

全国産業復興法(National Industrial Recovery Act, 1933)：_____法の緩和

農業調整法(Agricultural Adjustment Act, 1933)：農産物価格の維持

ii) 失業救済

連邦緊急救済法(Federal Emergency Relief Act, 1933)に基づく民間事業局，雇用促進局

iii) 公共事業

NIRAに基づく公共事業局，高速道路・TVA・港湾施設・治水など

iv) 社会保障

社会保障法(Social Security Act,1935) :

FERA=臨時・緊急的な失業救済の実験⇔_____的な制度改革・新制度の導入

v) 労働者の権利保障

ワグナー法(National Labor Relations Act,1935) : 労働者の団結権・団体交渉権を_____

(c) ラテン=アメリカ諸国に対する善隣外交政策(Good Neighbor Policy)

互惠通商協定法(Reciprocal Trade Agreements Act, 1934) : 大統領に相手国との協定により

関税率を上下 50%以内で変更する権限を付与⇒アメリカの輸出_____・通商_____

(4) 各国の恐慌への対処 : イギリス

① 第2次マクドナルド内閣 : 失業保険の削減などの国費節約案

② 第3次マクドナルド内閣

(a) 金本位制の停止・国費節約の断行

(b) ブロック経済化

i) ウェストミンスター憲章(31年)=_____*の形成

*カナダ・オーストラリア・NZ・アイルランド・南アフリカ連邦・インド・南ローデシア

ii) オタワ英連邦会議(32年)=ブロック経済政策 : ブロック内の関税_____・他国への_____関税

(c) ポンドの切下げ(31年) : 1ポンド 4.8ドル→3.3ドル

(5) 各国の恐慌への対処 : ドイツ

世界恐慌により国民経済に深刻な打撃⇒ナチスと共産党の勢力増大

① ナチス政権の成立

中産階級の一部の支持と共産党の進出に危機感を抱いた資本家や軍部の援助

→32年に第1党, 33年ヒトラー内閣成立, 共産党弾圧・_____委任法=一党独裁体制樹立

34年ヒトラー総統へ

② ナチス政権の政策

(a) 33年以降の_____計画 : 公共事業, 徴兵制, 軍需工業化

(b) 各種の統制

言論・出版統制，労働組合禁止，教育の国家による支配，秘密警察等による統制

(c) ユダヤ人迫害

(d) 再軍備・ヴェルサイユ体制の破壊＝_____

⇒第2次世界大戦へ

(6) 各国の恐慌への対処：日本

① 世界恐慌の波及

小作争議・労働運動・社会主義運動が高揚。政党への信頼低下・軍部の勢力増大

② 井上緊縮財政と恐慌の波及

30年，浜口雄幸内閣井上準之助蔵相

(a) 予算の引き締めと産業合理化

(b) 1917年以來の_____による金本位制復活・円の実質_____

世界恐慌の波及⇒輸出・金準備_____, 昭和恐慌

③ 高橋財政と輸出増大

31年12月，犬養毅内閣高橋是清蔵相

(a) 金本位制再停止・円兌換停止⇒_____制度

(b) 軍事支出増大

(c) 時局匡救事業：_____

(d) 国債発行とその日銀_____

(e) 輸出増大

円相場の下落⇒

英の植民地への輸出＝_____・ダンピング

素原料・機械のアメリカからの輸入依存_____

④ 中国侵略・権益拡大と国際社会での日本の孤立化

1931年9月，_____事件⇒満州事変・上海事変⇒32年3月満州国建国

33 年 3 月国際連盟脱退通告

＊戦後 70 年の「安倍談話」

第一次世界大戦⇒平和への願い⇒植民地化にブレーキ，国際連盟・不戦条約等：日本も同調

世界恐慌⇒欧米諸国のブロック経済化⇒日本経済に打撃⇒力の行使による解決⇒満州事変・・・

歴史的事実は？

1920 国際連盟発足

1927.5 第 1 次山東出兵：国民革命軍の北伐に対する満州権益の確保(居留民保護名目)

1928.4 第 2 次山東出兵：北伐再開への対処，5 月，日中両軍の武力衝突(済南事件)=十五年戦争の端緒，兵力増強。

6 月，張作霖爆殺事件：満州の中国からの独立を画策した関東軍の謀略。

1928.8.27 不戦条約

⑤ 軍国主義化

32 年，五・一五事件=_____政治崩壊

36 年，二・二六事件=高橋蔵相暗殺・軍国主義化決定的

37 年 7 月，盧溝橋事件→_____戦争全面化

⇒アジア・太平洋戦争へ

Ⅲ 1930 年代不況の経験の物語るもの

(1) 資本主義経済の自動回復力の喪失

独占資本主義段階の_____の顕在化

(2) 国家の政策による介入の特徴

経済過程への介入が大規模かつ_____的なものでなければならない。

① 社会不安を避けるために=失業対策，社会政策，労働運動の容認

② 不況からの脱出のために=国家による大規模な_____創出

もっとも適した方法は軍事化とブロック化・為替切下げによる輸出の増大策

⇒帝国主義間対立・世界戦争へ